

審議会等名	令和元年度第1回 つくばみらい市国民健康保険運営協議会会議録
開催日	令和元年8月1日(木)
開催場所	つくばみらい市役所 図書館2階 会議室
出席者	出席委員 高木 寛房, 今川 英明, 古川 よし枝, 鈴木 美和子, 青木 一郎, 岡本 善隆, 飯塚 伸泰 欠席委員 小菅 新一, 横張 雅彦 事務局 飯泉保健福祉部長, 明都国保年金課長, 大山課長補佐, 根本主査, 沼尻主査, 赤根係長, 幕田保健師
議案	報告事項 平成30年度つくばみらい市国民健康保険特別会計決算見込について
議案概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会 午後1時30分 明都課長</li> <li>・会長あいさつ 高木会長</li> <li>・会議録署名委員の指名 飯塚伸泰委員 青木一郎委員</li> <li>・議案 1)平成30年度つくばみらい市国民健康保険特別会計決算見込について事務局より説明。</li> </ul> <p>&lt;質疑等&gt;</p> <p>古川委員：平成30年度は余剰金の1億2千万円を基金に積立をしたということだが、これまでと違った会計処理のような気がしたが、考え方を聞きたい。</p> <p>また、平成30年度は制度変更後、応能割と応益割の割合はどのように変化したのか知りたい。</p> <p>また、短期被保険者証の発行数、資格証明書の発行数、差し押さえ件数・金額、不納欠損の額について聞きたい。</p> <p>事務局：基金の積立については、地方財政法により剰余金の2分の1を積みなければならないと定められているため、積立を行な</p>

	<p>った。</p> <p>また、応能・応益割については、平成29年度は応能割63%、応益割37%、平成30年度は応能割61%、応益割39%である。差し押さえ件数や金額等については、担当課は収納課であり、後ほど整理する。不納欠損額については、平成30年度は955万3千135円、件数としては116件。短期被保険者証の発行数は平成30年4月1日時点で386世帯、令和元年7月31日時点で358世帯。資格証明書は平成30年4月1日時点で11世帯、令和元年7月31日時点で7世帯。</p> <p>古川委員：法律に基づいて積立しなければならないのはこれまでもそうだったが、今までの会計処理はそうではなかった。多額の繰越をしていたが、それを積立にしたということですね、わかりました。</p> <p>今川委員：基金についてですが、年々増えており30年度は3億2千万円ほどになり、29年度から1億円以上増えている。税の財源についてはどうお考えか。</p> <p>事務局：平成30年度から制度が変わり、市の税率も変更したが、現在は激変緩和ということで本来納める額よりも少ない額の納付である。今後、被保険者の減少や、医療費の上昇、県への納付金の増額が見込まれており、現在の保険税率のままではいられないと考える。単年度で税率の見直しを考えるのは危険であり将来的なことを見据え、今のところは基金を積むという対応をおこなった。税率が改訂になったときには急激な値上げにならないよう、基金を充当していければと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回 令和元年度第2回を12月中旬から下旬頃予定</li> <li>・閉会 午後2時15分 明都課長</li> </ul>
<p>そ の 他</p>	<p>傍聴人 無</p>

以上，上記議事を明確にするため，この会議録を作成し，会長及び会議録署名委員が次に署名捺印する。

会 長

会議録署名委員

会議録署名委員